

市の位置及び地勢



当市は、愛知県の北西部、豊かに広がる濃尾平野のほぼ中央に位置し、面積は79.35 k m²、東西約14.6 k m、南北約9.2 k mと東西に長い長方形で、全般的に起伏がない地形になっています。人口は、令和7年4月1日現在、132,435人（57,324世帯）です。

稲沢の歴史をひもとけば、大化の改新（645年）後、尾張国の国府が置かれ、奈良時代には矢合に国分寺が建立されました。平安時代には尾張大国霊神社（国府宮）が尾張総社となって広く崇敬を集め、その後、江戸時代には東海道と中山道を結ぶ美濃路の宿場町としてにぎわいました。そのため市内各地には、かつての稲沢の隆盛を今に伝える史跡や文化財が数多く残されています。

産業面では、市域の西を流れる木曽川によって堆積された豊かな土壌と温和な気候を生かし、古くから野菜、植木、苗木などの産地として発展してきました。また、昭和30年代の工場誘致により、現在では多種形態の企業が着実に活動しています。

最近では、大型ショッピングセンターの進出や住宅建設が進み、都市としての魅力と自然環境の豊かさが調和したまちとして注目を集めています。